

発刊にあたって

久松山は、鳥取市中心市街地の中核に位置し、現在でも市民の心のよりどころとして親しまれています。史跡鳥取城跡はそのほぼ全山を範囲とする広大な史跡であり、江戸時代に築かれた鳥取城だけでなく、戦国時代までに築かれた数多くの中世城郭の遺構が残されています。

歴史上有名な羽柴秀吉と吉川経家の鳥取城攻防戦に見られるように、中世の鳥取城は堅固な要害として知られています。江戸時代には池田長吉・池田光政、そして因幡・伯耆32万石を取めた鳥取池田家代々の藩主によって、久松山の地形と一体となった近世城郭として整備されました。鳥取市中心市街地はこの鳥取城を中心に形作られた城下町を基礎としており、現在でもその町割などが色濃く残されています。

このように、鳥取城跡は日本の歴史上重要な場所であるばかりでなく、鳥取市の歴史と発展の原点として欠くことのできないものです。この鳥取城跡を整備し、後世に引き継ぐことは、私たち市民の責務であるともいえます。

この鳥取城跡を将来にわたって保存・整備・活用してゆくため、このたび「史跡鳥取城跡附太閤ヶ平保存整備基本計画」を策定しました。

本基本計画が、鳥取市の宝として永久に受け継がれる史跡としての鳥取城跡の保存整備を将来にわたって一步一步着実に進めていく一助となれば幸いです。

平成18年3月31日

鳥取市長 竹内 功

謝 辞

「史跡鳥取城跡附太閤ヶ平保存整備基本計画」策定にあたっては、市民と専門家からなる「史跡鳥取城跡附太閤ヶ平保存整備基本計画検討委員会」による検討をお願いし、様々な立場から熱心な議論を重ねていただきました。また、文化庁・鳥取県教育委員会等、関係機関の温かいご指導を頂いております。

市民政策コメント、鳥取城フォーラム等を通じて、市民の方からもたくさんのご意見をお寄せいただきました。

あらためて、検討委員、ご指導・ご議論いただいた皆様に、深く感謝申し上げます。

教育長 中川 俊隆

例言

1. 本書は「史跡鳥取城跡附太閤ヶ平保存整備基本計画」についての報告書である。
2. 本計画の策定は平成16年度から平成17年度の二ヶ年に行い、市単独事業として実施した。
3. 本計画の策定に当たっては、「史跡鳥取城跡附太閤ヶ平保存整備基本計画検討委員会」を設置し、計画案を取りまとめて報告を受けた。また、文化庁記念物課及び鳥取県教育委員会文化課の指導を受け、公園街路課・都市計画課・観光コンベンション推進課・まちむら活性化推進チーム・林務水産課等、庁内関係部局と適宜協議した。
4. 本書の編集は、鳥取市教育委員会文化財課で行った。

はじめに（基本理念）

史跡「鳥取城跡附太閤ヶ平」は、緑豊かな久松山に位置する、鳥取市街地の景観的・歴史的ランドマークであり、鳥取市民の心のよりどころである。

久松山には戦国時代までに築かれた中世城郭群と江戸時代に藩主の居城となった近世城郭が重層的に築かれ、ひとつの史跡で城郭変遷の歴史を示している。

中世城郭群には、太閤ヶ平をはじめとする、豊臣秀吉と吉川経家の鳥取城攻防の状況を示す遺構も含まれている。

近世城郭としての鳥取城は、関ヶ原の合戦後に池田長吉によって整備され、池田光政を経て藩主・鳥取池田家によって継承された。鳥取城を中核に造営された城下町は、地域の文化的・経済的中心地として繁栄し、現在の中心市街地の礎となった。

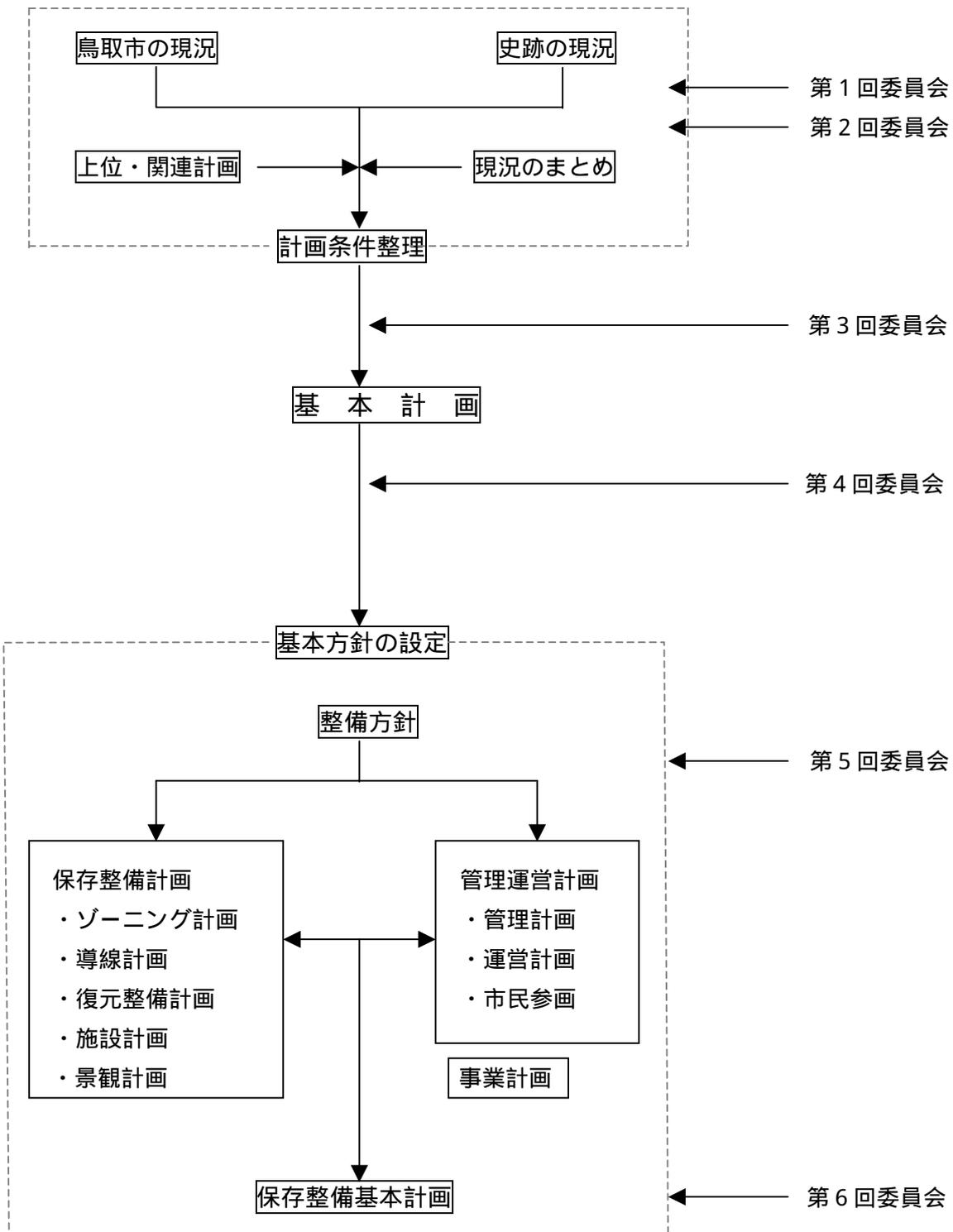
鳥取城は明治時代に入り、城郭としての機能を失ったが、それ以後も中心市街地のランドマークとして、また都市に隣接する豊かな自然として、市民に親しまれてきた。

鳥取市は、昭和32年の史跡指定以来、鳥取城跡の保存管理に努めてきたが、近年の都市環境・自然環境の変化により、鳥取城跡が果たしてきた役割は、ややもすれば見失われがちとなっている。

今後、「まちの宝」である鳥取城の存在を守り、その特質を活かしてゆくためには、長期的な視点にたった保存整備計画の立案が不可欠である。

市民の心の拠り所、憩いの場である鳥取城跡の価値を広く永く伝えるとともに、市民の歴史や景観に対する意識を呼び覚ます基点となる整備を進めるため、本基本計画を策定する。

史跡 鳥取城跡附太閤ヶ平保存整備基本計画作業フロー



今後の課題

目 次

はじめに

基本理念

基本計画について（作業フロー）

．鳥取市の現況

- 1) 自然条件 1～2
（位置・地形・気候）
- 2) 社会条件 3～15
（人口・産業・交通・土地利用・観光・法規制・公園緑地）
- 3) 歴史条件 16～26
（歴史概要・歴史年表・主要文化財）
- 4) 上位計画・関連計画 27
（上位計画・関連計画）

．史跡の現況

1. 史跡の概要

- 1) 史跡の概要 28
- 2) 位置と地形 29
- 3) 自然 30～32
（地質・植生・動物・久松山自然環境のまとめ）
- 4) 法規制・土地所有管理区分 33～38
（法規制・土地所有管理区分・法規制図）

2. 歴史条件

- 1) 鳥取城の構成 39～40
- 2) 鳥取城の変遷 41～48
（鳥取城跡関連年表・鳥取城変遷一覧表・鳥取城変遷図・幕末期想定縄張図）
- 3) 参考資料一覧 49
- 4) 発掘調査 50～55
（発掘調査年表・発掘調査位置図・発掘調査概要）
- 5) 史跡整備事業 56～59
（史跡指定の経緯・史跡整備の経緯・史跡整備事業年表・年度別整備事業位置図）

3. 現況分析	
1) 景観（景観分析写真位置図・景観分析表）	60～64
2) 山上ノ丸・山下ノ丸・太閤ヶ平現況分析	65～69
3) 史跡の利用状況	70～72
（鳥取城跡の利用状況・都市公園としての現況・史跡周辺の利用状況）	
4. 史跡の現況まとめ	73

基本計画

1. 方針の設定	
1) 基本計画フローチャート	74
2) 基本方針	75～76
3) 整備方針	77～78
2. 整備計画	
1) ゾーニング計画	79～81
2) 導線計画	82～85
3) 復元整備計画（近世鳥取城）	86～88
（建造物復元条件検討リスト・復元整備計画図）	
4) 施設計画	89～90
（観光入り込み者数・施設・駐車場・トイレ・バリアフリー）	
5) 整備計画図	91
6) 景観計画（中ノ御門復元イメージ図・整備計画断面図）	92～94

管理・運営参画

1. 管理	95
2. 運営	96
3. 市民参画	96

事業計画

1. 計画期間について	97
2. 事業費について	97
（事業計画表・事業計画範囲図）	98～99

参考資料

これまでの整備検討の経緯	100～106
委員会記録	107～126
引用・参考文献	127～128